

一 世界広布と創価学会 ②日顯宗を破す

問1 悪と戦う意義を踏まえて、次の文章を完成させなさい。

御書に「如かず彼の万祈を修せんよりは此の（ 1 ）を禁ぜんには「いかなる（ 2 ）をつく法華經を千万部読み書きし一念三千の觀道を得たる人なりとも（ 3 ）をだにも・せめやれば（ 4 ）ありがたし」とあるよつに、仏法を正しく実践するうえで重要なことは、成仏を妨げる悪縁となる一凶と戦い抜くことです。悪を責めなければ成仏はないとの確固たる断言です。

現代における一凶とは（ 5 ）にほかなりません。

ア、大善 イ、法華經の敵 ウ、得道 エ、日顯宗 オ、一凶

問2 宗門事件の経過を踏まえて、後の語群から言葉を選んで次の文章を完成させなさい。

大聖人の広宣流布の精神と実践は第一祖（ 6 ）に正しく継承されました。しかし時代を経る毎に形骸化し、葬式仏教と化していく、創価学会創立時には日蓮正宗宗門は法滅状態でした。日顯が法主になつて以来、やがてに仏法破壊が進み、創価学会と池田先生への嫉妬から学会破壊を日論み始めました。平成2年、日顯は創価学会を切り捨てて一部の信頼信徒を宗門側に隸属させるために「創価学会分離作戦」を企てました。彼らは「の陰謀を（ 7 ）と呼びました。

ア、○作戦 イ、△作戦 ウ、日興上人 エ、○作戦

問3 日顯宗の大罪と邪義について、文証を挙げて破折した文章です。語群から言葉を選んで文章を完成させなさい。

① 広布破壊の謗法

「大願とは（ 8 ）なり」「（ 9 ）の大願」とあるように広宣流布は（ 10 ）の御遺命である。

しかし日顯宗は広宣流布をすすめる（ 11 ）を破壊しようと（ 12 ）を企てた。これは広宣流布破壊であり、一切衆生の救濟を日指した宗祖（ 13 ）の心に背く大罪である。

ア、創価学会 イ、日蓮大聖人 ウ、○作戦 エ、広宣流布 オ、法華弘通

② 法主信仰の邪義

日顯宗は「法主は絶対である」「法主も信仰の対象である」と主張するが、そのようなことは大聖人の（ 14 ）のどなにも書かれていない。それどころか「時の貴首（かんづ）」を雖も（ 15 ）に相違して（ 16 ）を構えさせ用う可からざる事」と厳しく戒められている。法主絶対論を主張する日顯宗は、邪宗教そのものである。

ア、仏法 イ、己義 ウ、法華經 エ、世法 オ、御書

③ 誤った血脉觀

日顯宗は法主相承を受けるだけで仏の悟りを得るという神秘的血脉觀を主張するが、大聖人は「日本國の（ 17 ）に法華經を信ぜしめて仏に成る（ 18 ）を繼がしめん」と、血脉とは正しい（ 19 ）のことであると明言している。さらに「（ 20 ）の血脉なくんば法華經を持つとも無益なり」と喝破されている。広宣流布を推進する創価學会を迫害する日顯宗に、信心の血脉は存在しない。

ア、血脉 イ、信心 ウ、相承 エ、一切衆生 オ、宗門

④ 僧俗差別

日顯宗は「僧侶が上で在家は下」と主張するが、大聖人は「（ 21 ）は嫌うべからず」と、一切衆生は平等であると明言されている。僧俗を差別することは万人がもつている仮性の否定であり、仏法の本質を見失っている。

ア、僧侶 イ、男女僧尼 ウ、庶民

⑤ 化儀の悪用

日顯宗は成仏するためには戒名や塔婆、僧侶による葬儀などが必要と主張するが、大聖人は「過去の慈父尊靈は存生に（ 22 ）と唱えしかば即身（ 23 ）の人なり」と、成仏は生前の（ 24 ）の実践によると明言されている。僧侶が不可欠などと邪義を構えること自体が仏法破壊である。

ア、南無妙法蓮華經 イ、成仏 ウ、信心 エ、供養 オ、加持祈禱

⑥ 腐敗墮落

豪遊など腐敗墮落した日顯をはじめとする日顯宗僧侶は、大聖人が「（ 25 ）の皮を着たる畜生」「（ 26 ）がき」と厳しく戒めた悪僧の姿そのものである。

ア、食法 イ、法師 ウ、地獄 エ、人間